

改憲問題はどのように「問題」なのか

— 憲法を実感できない生活と意識の「現場」から考える —

憲法改正の議論が進んでいますが、一方で、あまり議論が盛り上がっていない、という感も否めません。

いま、多くの人にとって、憲法を実感できない状況が作られているのではないかと、という問題意識からの講演です。憲法の意義を改めて考え直したいと思います。

中西新太郎さんは、神奈川県で大学人有志のつどいである「神奈川憲法アカデミア」の共同代表であり、若者文化論などを長年研究され、憲法問題についても積極的に発信されています。どうぞご期待ください。

講演 中西 新太郎 さん

関東学院大学経営学部教授、横浜市立大学名誉教授。
現代日本社会論・文化社会学専攻。
神奈川憲法アカデミア共同代表。
「若者は社会を変えられるか」「人が人のなかで生きていくこと」「『問題』としての青少年」
「若者たちに何が起きているのか」など著書多数。



日時： **2019年11月2日（土）**
14時～16時

会場：横浜市開港記念会館 講堂（定員470名）
（横浜市中区本町1丁目6番地）

主催/問合せ：神奈川県弁護士会

（企画：憲法問題対策本部/人権擁護委員会）

☎045-211-7705（平日9～12時、13～17時）

共催（予定）：日本弁護士連合会、関東弁護士会連合会

